

## 物理探査学会賞の受賞

第 46 回物理探査学会において、平成 17 年度物理探査学会賞を受賞しました。内容は以下の通りです。

・受賞者： 馮少孔・杉山長志, 山中浩明 (東京工業大学)

・対象論文:① 馮少孔・杉山長志・山中浩明(2003)「微動アレイ探査における多地点同時逆解析」物理探査, 56, 1, 1-11.

② 馮少孔・杉山長志・山中浩明(2005)「Effectiveness of multi-mode surface wave inversion in shallow engineering site investigations」(マルチモードレイリー波位相速度インバージョン及び適用例) 物理探査, 58, 1, 26-33

一番目の論文は微動アレイ探査による堆積平野の準 3 次元的な地下構造を求めるために、従来 1 地点ごとに解析していたものを複数地点のデータを連結して解析する新技術です。

2 番目の論文は表面波探査の解析精度を向上する技術で、地下構造解析に用いる位相速度曲線を従来の基本モードだけの解析からマルチモードの位相速度曲線も適用できるように拡張した新技術で、微動アレイ探査にも高密度表面波探査にも適用可能な技術です。

平成 11 年から大深度地下構造調査業務を通じて微動アレイ探査技術を開発してきており、発注者からの信頼を得ており、さらに今回の受賞は学術的にも評価された結果と思われま

す。  
この受賞は、東京工業大学を始め多くの大学の先生方からの適切なお指導、並びに我が社の技術開発方針に裏打ちされた開発者の努力によるものと感じています。今後は、この成果を生かして社会資本整備に役立てていきたいと存じます。(文責：馮 少孔・杉山長志)



物理探査学会賞

杉山長志殿

平成18年5月9日

社団法人 物理探査学会  
会 長 牛島 恵輔

# 賞状

杉山長志 山中浩明 馮 少孔 殿

本会は貴殿の業績「微動アレイ探査  
における多地点同時逆解析」並びに  
「Effectiveness of multi-mode surface  
wave inversion in shallow engineering  
site investigations」が物理探査の学問  
技術に貢献すること大なるものと認め  
ここに物理探査学会賞を贈呈します

平成18年5月9日

社団法人物理探査学会

会長 牛島 恵輔

